

	質 疑	回 答
1	現状学校ごとに部活動のチーム編成を行っているが、地域展開後は広陵町ステーションプラス1クラブとして、合同のチームとなるのか。	地域展開後のチーム編成は、現在検討中の段階であり、明言できませんが、基本的に広陵町ステーションプラス1クラブで活動を行う際は、中学校ごとにチームを分割するのではなく、広陵町ステーションプラス1クラブで一つのチームとして活動することが予想されます。ただし、同一種目であっても、大会進出等を目的とするチャンピオンシップ的な性質を持つチームと、健康増進や交流を目的としたチーム等でチーム編成を分ける場合もあります。
2	部活動地域展開には課題が山積している状況であると認識しているが、地域展開が円滑に進まないことで子どもの部活動離れに繋がることを懸念している。地域展開に伴う部活動離れについて、対策等はあるのか。	前提として、地域展開後の休日実施を検討している地域クラブ活動は学校部活動とは別の性質を持つ活動であるをご認識ください。 基本的な考え方として、学校部活動は令和8年度から平日のみの実施となります。それに伴い、従前休日も部活動をしていた子ども達がスポーツ・文化芸術活動を行う機会が減少しないように地域でその機会を確保しようと検討しているのが地域クラブ活動であり、広陵町では『広陵町ステーションプラス1クラブ』です。 したがって、本来的に地域クラブ活動は学校部活動とは別の性質を持っており、実施主体も異なります。 ただし、学校がまったく関与しないというわけではなく、生徒や保護者の方が安心して地域クラブ活動に参加できるように、部活動と同様若しくはそれ以上に、市町村や学校が指導者等と連携し活動を進める必要があると考えています。
3	地域展開の課題に「保護者の送迎」が挙げられているが、具体的な課題への対応について説明がなかったがどのように考えているのか。	保護者の送迎については、できる限り発生しないように生徒が自力でたどり着ける範囲に活動場所を設定する、活動場所が遠方となる生徒には学校とは別に自転車での移動を許可する等の対応を検討しています。 ただし、必ず生徒が自力でたどり着ける範囲に活動場所を設定できるとはかぎらず、また、練習試合等については、従前の様に顧問が引率し自転車で移動すること等が困難なため、そういった場合に保護者様のご協力が必要となります。
4	地域展開後の広陵町ステーションプラス1クラブの実施体制等の詳細はいつ頃決まってくるのか。	実施体制については、その多くが今後の検討事項であるため、現時点で詳細の決定時期をお伝えすることは困難です。できるだけ早期に検討を完了し、準備出来次第、関係各所へ連絡させていただきます。
5	保護者負担について、詳細が決定し周知されるのはいつ頃か。	保護者負担への公費負担割合は、国や県の補助金をはじめ近隣市町村の動向を調査中であり、決定時期は現状未定ですが、できるだけ早期に決定し保護者の皆様へ周知できるよう努めていきます。
6	土日に実施している文化系の部活動について、資料には新たな場所の設置を検討とあるが、文化部は今までとは違う場所で活動を行うということか。	文化部についても、広陵町ステーションプラス1クラブに新たな活動種目として追加をしていく予定ですが、指導者の確保が問題となっています。指導者の確保ができ、活動種目として追加できた場合は、まず従前と同じ活動場所での活動を検討させていただき、従前と同じ場所での活動が困難な場合は、新たな活動場所を検討することとなります。

	質 疑	回 答
7	部活動地域展開の課題で、指導者の確保を挙げていたが、広陵町ステーションプラス1クラブに登録する指導者が確保できなかった場合、確保できなかった部活動については廃部となるのか。	今回地域展開の対象となっているのは、部活動のうち休日に実施している部分であり、平日の部活動は令和8年度以降も当分の間はこれまでどおり教員等が行いますので、地域展開後の指導者が確保できなかった場合も廃部とはなりません。また、指導者が見つからなかった部活動については、休日は活動休止となり、8年度以降も引き続き指導者を募集し、配置できた時点で活動開始とする予定です。
8	令和8年度以降、平日は従前どおり部活動として活動し、休日は地域クラブで活動するとなった場合、休日に行われる大会や行事等の引率は教員は行えないと認識しているが、そのような場合はどのように対応するのか？	大会については、大会を運営する国や県から明確な方針が示されておらず、詳細が決定していません。
9	不透明な事項が多い中、国の指針では令和13年度まで期間があるにも関わらず、広陵町はなぜ急いで令和8年度から休日の部活動地域展開を行うのか。	奈良県は令和8年度から休日における教員の指導による学校部活動を廃止すると方向性を定めており、教員は原則休日の部活動指導ができなくなるため、生徒の部活動に代わる活動場所として地域クラブ活動への転換が必要だと考えているからです。
10	部活動地域展開について、部活動の顧問を務めている教職員への説明は完了しているのか。	昨年度に教育委員会が学校へ出向き説明をしています。
11	平日は学校部活動で顧問の先生が指導し、休日は地域クラブで別の指導者が指導するとなった場合、子ども達にとってどうなのか（指導方針の違い等で混乱することはないか。）。	指導方針を含め、地域展開が原因で生徒に混乱が生じないよう、学校、町、地域クラブで連携を密にし取組を進める予定です。
12	広陵町ステーションプラス1クラブに休日の部活動を転換した場合、広陵町ステーションプラス1クラブに活動種目が既にある部活動については、地域クラブと学校部活動の合同チームになるということか。	広陵ステーションプラス1クラブは、同一の活動種目であっても大会進出を目指すいわゆるチャンピオンシップ的なクラスと、健康増進や交流等を目的とするクラスにわかれている種目もあるため、どのようにチーム編成をしていくかは今後検討する予定ですが、多様な世代との交流という目的を考えると合同練習となる可能性も充分あります。
13	この説明会では、具体的な内容は何もわからなかった。具体的な内容が決定した段階でもう一度説明会を開催するのか。	今回の説明会は、不透明な部分が多い中で、国や県の考え方や保護者負担の増加等の見えている部分を紹介することで今後実施させていただくアンケート回答の素材としていただくために開催させていただきました。説明会を再度開催するかは、今後検討していきます。